

第 2 期 設計研究グループの活動概要

最終処分場を構成しているごみをためるダムなどの主要な構造物とその機能については、第 1 期 LS 研で研究され、その内容は、LS 研が中心となって作成したハンドブックに記され、市販されている。

しかし、個々の構造物が独立してその機能を発揮しただけでは、周辺環境を護り、早く廃棄物を安定化(有害物の溶け出しを防止)するには不十分で、機械の 1 つの歯車が他の多くの歯車と連動して機械が動いているように、最終処分場の各構造物は相互に関係しあって効果的な働きをしなければならない。このことをシステム化といっている。

第 2 期 LS 研の設計研究グループでは、最終処分場を構成している構造物がシステム化され、うまく機能を発揮し、住民が安心する安全な最終処分場を造る研究を中心とした。構成する構造物のうち、浸出水(汚水)が漏水しないようにする遮水構造物については、特に大切な構造物なので、沢山のごみが埋め立てられたとき、どのようになるか模型実験によって確かめた。そして遮水シートなどが破れないようにする方法も研究した。さらに、万が一遮水構造物が破損したとき、漏水によって浸出水がどのようにひろがり、地下水を汚染するかについてもシミュレーション(電算機による模型実験)で予測した。

これらの結果は平成 11 年度の報告書にまとめられているので参照されたい。

なお、第 2 期 LS 研設計研究グループは、下記の 4 分科会構成で活動した。

【第 2 期設計研究グループの構成】

設計研究グループ					
リーダー		：小谷 克己 (株)大林組			
サブリーダー		：宇佐見 貞彦 八千代エンジニアリング(株)			
システム設計土木分科会					
鶴長	文憲	バシフィックコンサルタンツ(株)	黒岩	正夫	(株)大林組
荻野	淳	東亜建設工業(株)	藤田	正実	(株)環境技研 コンサルタント
矢沢	成尚	(株)熊谷組	千葉	俊彦	国際航業(株)
システム設計水分科会					
松井	誠	不動建設(株)	高木	義誉	(株)総合エンジニアリング
田丸	敏弘	八千代エンジニアリング(株)	杉浦	孝文	大日本土木(株)
遠藤	浩	ダイニック(株)	福嶋	秀弘	三菱化工機(株)
表面しゃ水工設計分科会					
宇佐見	貞彦	八千代エンジニアリング(株)	坪井	正行	東洋ゴム工業(株)
松山	眞三	タキロン(株)	大野	文良	清水建設(株)
奥村	真二	(株)間組	小西	裕次	太陽工業(株)
池田	潤治	太洋興業(株)	古賀	慎	(株)豊順洋行
石川	雅洋	東洋紡績(株)	長谷川	修	西武ポリマ化成(株)
志々目	正高	日商岩井ベントナイト(株)	花見	秀二	日ケミ商事(株)
今泉	繁良	宇都宮大学			
地下水汚染リスク分科会					
加藤	善金		西山	勝栄	(株)熊谷組
笹井	裕	東和科学(株)	土橋	弘	土橋技術士事務所
小日向	隆	(株)福田組			